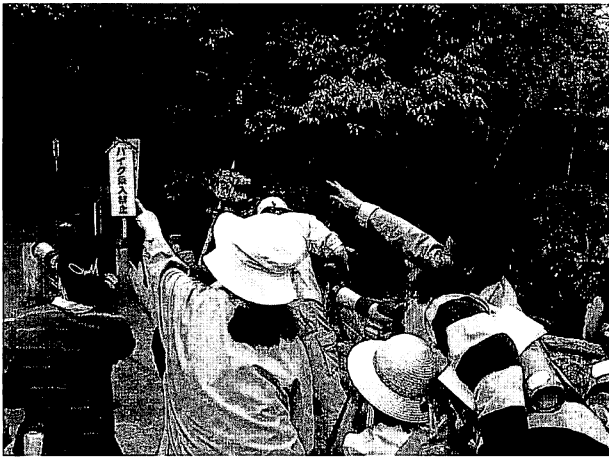




学会の方向性を考えるうえで意味があると思う。一方、参加者数は制限しなかったため、結果的に昆虫グループが50名と大勢になり、観察の機会が減りはしなかったかと気がかった。講師の先生に近い所で話を聞くことができるようにするため、適正な人数を設定したほうがよいかもしれない。

眼を輝かせて生き物を見る子や、自分の知っていることを嬉しそうに話してくれる子、説明に対してあれこれと気付いたことを進んで尋ねる子。そのままの興味を持ち続けて大きく成長してくれたらと感じつつ、観察会は正午頃に終了した。講師の先生方、ありがとうございました。



(事業部 稲葉浩介)

兵庫県生物学会第60回大会 報告

日 時 2006年(平成18年)5月20日(土)

10:00~16:30

場 所 明石市立文化博物館 大会議室(2階)

明石市上ノ丸2丁目13番1号

tel 078-918-5400 fax 078-918-5409

参加者 市村豊, 稲葉浩介, 井上清仁, 岩島芳哉, 岩島とみ子, 上根大輔, 宇那木隆, 大賀二郎, 大場義憲, 小野淑子, 河浪繁, 北村健, 小嶋良平, 近藤昭一郎, 阪口正樹, 笹井隆邦, 繁戸克彦, 白岩卓巳, 杉田隆三, 鈴木武, 工義尚, 谷本卓弥, 当津隆, 中尾朋央, 奈島弘明, 西海将雄, 西口龍平, 橋本光政, 八田康弘, 林美嗣, 平畑政幸, 真野育三, 三木正士, 室井綽, 矢頭卓児, 横山雅一, 横山了爾

日 程

9:30~10:00 自然観察会用受付
(文化博物館前)

10:00~11:30 明石公園自然観察会

植物グループ 講師 平畑先生

シダグループ 講師 鈴木先生

鳥グループ 講師 工先生

昆虫グループ 講師 真野先生・北村先生

11:30~13:00 昼食・休憩

12:20~13:00 生物学会総会受付

13:00~14:30 記念講演

演題 「生物多様性の調査研究

—その現状と展望—」

講師 岩槻邦男 東京大学名誉教授・

兵庫県立人と自然の博物館館長

14:40 記念写真撮影

14:50~16:00 総会

(1) 開会の言葉 奈島事務局長

(2) 会長挨拶 白岩会長

(3) 議長選出 矢頭理事, 北村理事

(4) 議事

①平成17(2005)年度会務報告…了承

②平成17(2005)年度会計報告…了承

監査報告 上根理事より報告

③平成18(2006)年度企画案審議…了承

④平成18(2006)年度会計予算案審議…了承

なお、賛助会費の納入者を周知することの依頼があり、本部事務局で検討することとなった。

(5) 平成18(2006)年度役員委嘱(白岩会長)

(6) 研究奨励賞贈呈

岩島芳哉氏 (龍野芸術工房伊勢屋理事)
西口龍平氏 (白陵中学校・高等学校教諭)

(7) 感謝状贈呈

阪口正樹氏 (1997年度～2004年度事務局長)

16:00～16:45 会員発表(各20分)

(1) 岩島芳哉氏

「手柄山のタケ・ササ類の植物調査」
「竹文化の伝承と普及」

(2) 西口龍平氏 「加古川生物調査」

16:45 閉会の言葉 稲葉事業部長

(大会資料1) 白岩会長挨拶

60回を記念する大会を開催することになりました。生物学会の過去を振り返って最初から関わっておられたのは室井先生、当津先生です。戦後、生物はじめ化学や物理などの理科関係の学会がむずかしい状態になり、生物学会としてこの明石の地で最初の集会がもたれました。立ち上げの時からご苦労されました。生物学会として半世紀以上過ごせたことは会員の皆様の努力あつての結果です。先輩の諸先生のされてきたことを考えると現会員の私たちは身が引き締まる思いです。

生物学会は新会員のご要望もあり、会員の自己研修の場だけでなく、広くその成果を社会に還元していく必要があります。小中学生や一般の人も入って午前中に自然観察会が行われました。さらに、12月には研究発表会が行われますが、昨年度は高校生も混じって発表いたしました。小・中・高校生、さらに一般の方々とともに活動し、成果を共有できる方向にも進んでいます。生物学会は時代に遅れないように取り組みを進めており今後も皆さんとともに努力を続けていきたいと思えます。

また、60周年記念誌も未来時代を読み取れるものになるような編集がほぼ完了という段階にさせていただいています。各支部会員の協力の成果であります。

本年も自己研鑽はもちろん、支部などの共同研鑽、同時に高校生を始め一般社会の人々に貢献していく兵庫県生物学会になるよう決意新たに進んでいきたいものです。よろしく申し上げます。

(大会資料2) 2005年度(平成17年度)会務報告

2005年

『兵庫生物ニュース』no.63(4.25大会案内)no.64(7.1大会報告)no.65(9.24理事・役員会報告研究発表会案内)

4. 3 第1回理事・役員会(神戸)

3～5 タンポポ調査

(人博鈴木先生のお世話になりました)

5. 22 第59回大会

(但馬支部のお世話になりました)

7. 17 60周年記念誌編集会議

8. 18, 19 夏期自然観察会 鉢伏・氷ノ山
(但馬支部のお世話になりました)

8. 21 60周年記念誌編集会議

8. 27 第2回理事・役員会(姫路)

8～11 地域自然定点調査

氷ノ山古生沼(8.19)甲子園浜(10.26)

宝塚(9.18) 藍那(8.1, 11.13)

福泊海岸(10.22)

8. 31 『兵庫生物』13巻2号 原稿締め切り

9. 24 『兵庫生物』13巻1号 発送

12. 11 第9回研究発表会, 事業部会

10～2 60周年記念誌編集小委員会(5回)

2006年

3. 5 60周年記念誌編集会議

4. 1 会計監査

(大会資料3) 2006年度(平成18年度)企画

2006年

『兵庫生物ニュース』no.66(4.23大会案内)no.67(6月 大会報告)no.68(9月 理事・役員会報告研究発表会案内)no.69(12月 研究発表会報告)

4. 8 第1回理事・役員会

(新長田勤労市民センター)

5. 20 第60回大会

(明石市立文化博物館, 明石公園)

『兵庫生物』13巻2号 発行

60周年記念誌発行

会員名簿発行

地域自然定点調査

氷ノ山古生沼(月 日)甲子園浜(月 日)

宝塚(月 日) 藍那(5月27日)

福泊海岸(月 日)

夏期研修会

7月26～28 臨海実習

神戸大学 内海域環境教育研究センター

8月1～6 60周年記念海外旅行

4泊6日 ポルネオ 熱帯多雨林観察

8. 19 第2回理事・役員会(姫路)

『兵庫生物』13巻3号 投稿締切日(8月31日)

12. 第10回研究発表会(神戸大学)

2007年

3月 会計監査

(大会資料4) 2006年度(平成18年度)

兵庫県生物学会役員名簿

会 長 白岩 卓巳
 副 会 長 武田 義明 前田 常雄 栃本 武良
 事務局長 奈島 弘明
 (事務局) 阪口 正樹 鈴木 武
 事業部長 稲葉 浩介

(兵庫生物ニュース担当) 繁戸 克彦

(自然残存度調査担当) 繁戸 克彦

(臨海実習担当) 西海 将雄

(企画担当)

植田 吉則 甘中 照雄 北村 健

酒井 達哉 田村 統 山本 一潔

横山 了爾

(インターネット担当) 武田 義明

(生物ハンドブック担当)

後藤 統一 繁戸 克彦 安本 直

編集部長 武田 義明

(『兵庫生物』の編集出版担当)

中西 敏昭 梶原 洋一 丹羽 信彰

田中 俊雄 工 義尚 登日 邦明

大谷 剛 永吉 照人 阪口 正樹

会 計 工 義尚 谷本 卓弥

会計監査 田村 統 樋口 清一

選挙管理委員 岡村 はた 後藤 統一

地域自然定点調査支部委員

(神戸) 谷口 博 (阪神) 宇和 敏明

(東播) 片山 貴夫 (西播) 甘中 照雄

(但馬) 盛谷 浩 (丹有) 田井 彰人

(淡路)

60周年記念誌企画委員

(委員長) 平畑 政幸

(神戸) 丹羽 信彰 笹井 隆邦

(阪神) 中尾 義廣 (東播) 北村 健

(西播) 久後 地平 (但馬) 菅村 定昌

(丹有) 内垣内義博 (淡路)

支 部 長 (神戸) 矢頭 卓児 (阪神) 北方 英二

(東播) 真野 育三 (西播) 宇那木 隆

(但馬) 上田 尚志 (丹有) 樋口 清一

(淡路)

支部選出理事

(神戸) 矢頭 卓児 深水 正和

(阪神) 北方 英二 田中 貞之

(東播) 真野 育三 上根 大輔

(西播) 宇那木 隆 田村 統

(但馬) 上田 尚志 菅村 定昌

(丹有) 樋口 清一 酒井 達哉

(淡路)

会長委嘱理事 小林 禧樹 西村 登

高岡得太郎 黒崎 史平

名誉会長 室井 綽

顧問 阿蘇 達郎 安房 明 猪井 隆

上中 一雄 内海 功一 大賀 二郎

岡村 はた 小嶋 良平 小林 拓郎

近藤昭一郎 渋谷 龍二 清水 淳

清水美重子 杉田 隆三 高橋 匡

竹下 信 建 武 谷口 博

当津 隆 永吉 照人 西村 登

橋本 光政 浜田 史郎 東 敏男

平畑 政幸 藤本 義昭 古田 昌

前田 常雄 前田米太郎 向山 俊作

森本 義信 横山 了爾